

宮古商工会議所経営発達支援事業「地域の経済動向調査」

景況調査アンケート報告書

第 1 回

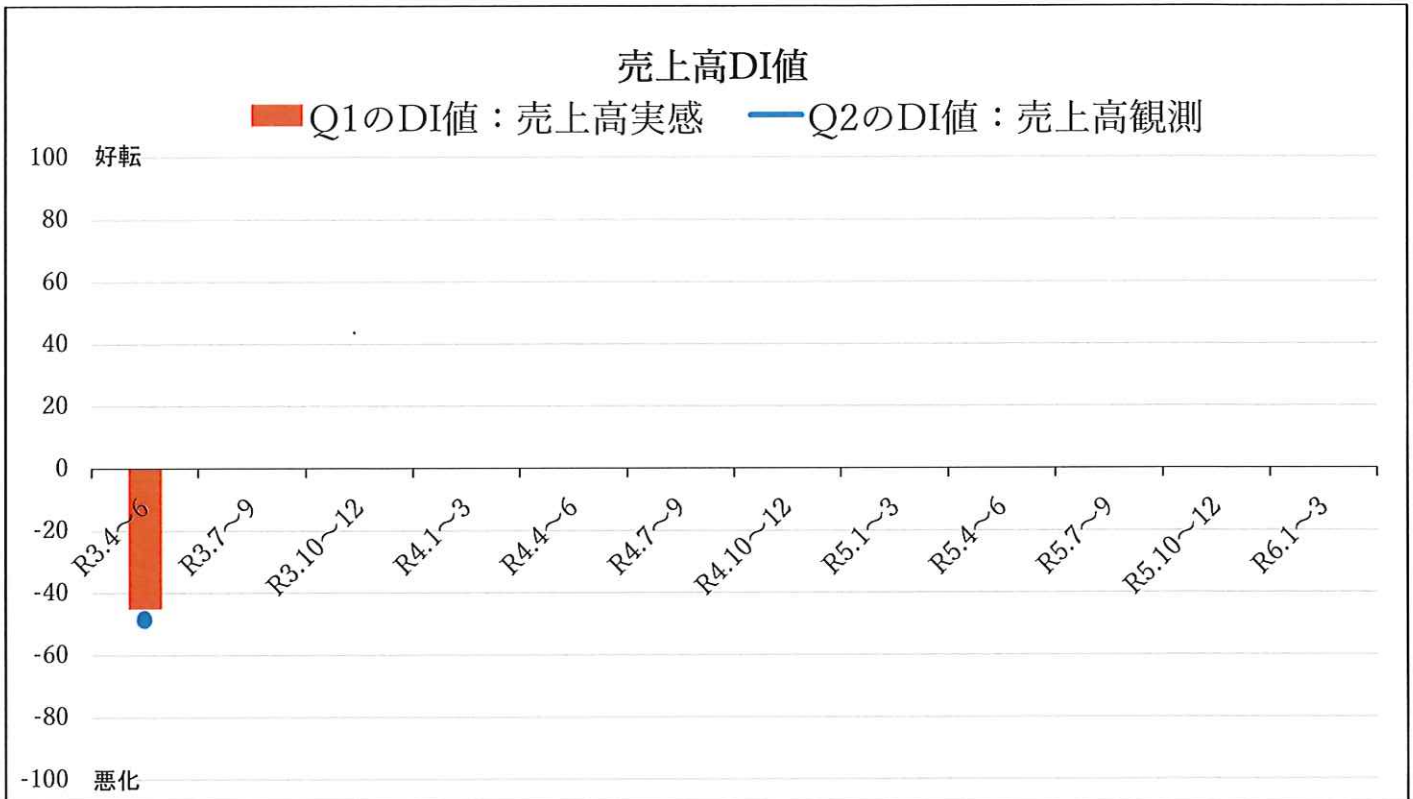
1. 目的 地域の景況感と事業所の経営状況を把握するため四半期毎の調査を行い、地域内の現況を把握する。
2. 調査期間 令和3年7月1日～令和3年7月15日
3. 調査数 宮古商工会議所8部会より30事業所を選出。計240件。
内訳 ①卸売業 11 ②小売業 40 ③製造業 40 ④建設業 50
⑤宿泊業 9 ⑥飲食業 14 ⑦理美容業 15
⑧サービス業 38 ⑨金融保険業 10
⑩その他（農林漁業・運輸業・不動産業等）13
4. 調査方法 郵送調査。回収は、郵送、FAX、電話、面談による。
5. 調査内容 定期設問8項目・時事設問3項目
6. 回答状況 初速件数（一週間以内の回答） 55件（≒23%）
最終件数 240件 内、小規模事業者 147件（≒61%）
7. 測定方法 日本銀行の企業短期経済観測調査（日銀短観）の業況判断DIに準ずる。調査対象企業に「①好転」「②変わらず」「③悪化」という質問を行い、「①好転」の回答割合から「③悪化」の回答割合を差し引く。この際のDI値は-100から+100の間を推移し、プラスのときは景気拡大期（好景気）、マイナスのときは景気減速期（不景気）と判断される。 ※DI=景気動向指数
8. 別添資料 アンケート集計結果

宮古商工会議所経営支援課

【卸売業・小売業】

Q 1. 「4～6月の売上高」についてお尋ねします。前年4～6月と比べて状況はいかがですか？

Q 2. 「向こう3ヶ月の売上高の見通し」についてはいかがですか？

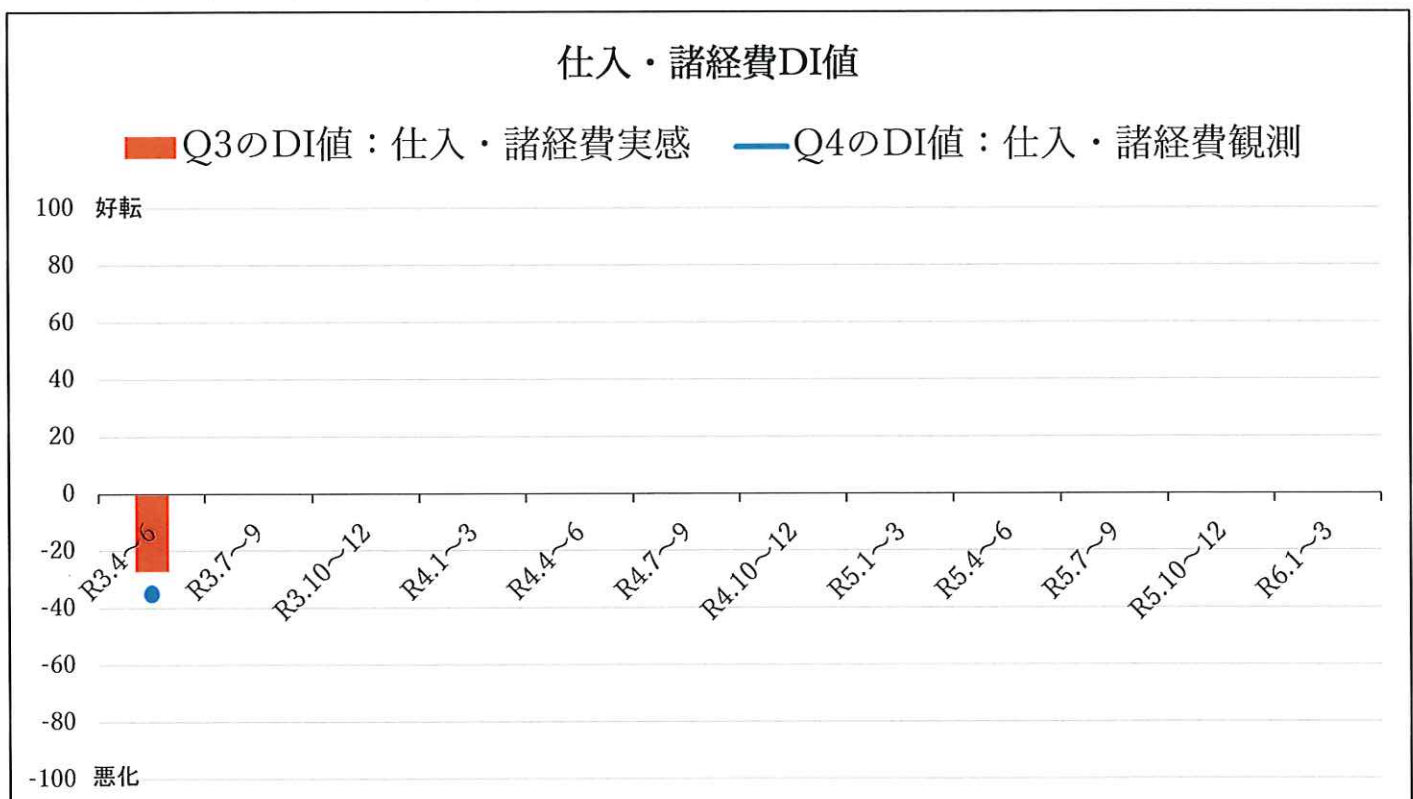


□売上高実感のD I 値は▲45ポイント、観測のD I 値は▲47ポイント。

収入減少による不況停滞感が強く、今後も続く見通し。

Q 3. 「4～6月の仕入・諸経費」についてお尋ねします。前年4～6月と比べて状況はいかがですか？

Q 4. 「向こう3ヶ月の仕入・諸経費の見通し」についてはいかがですか？

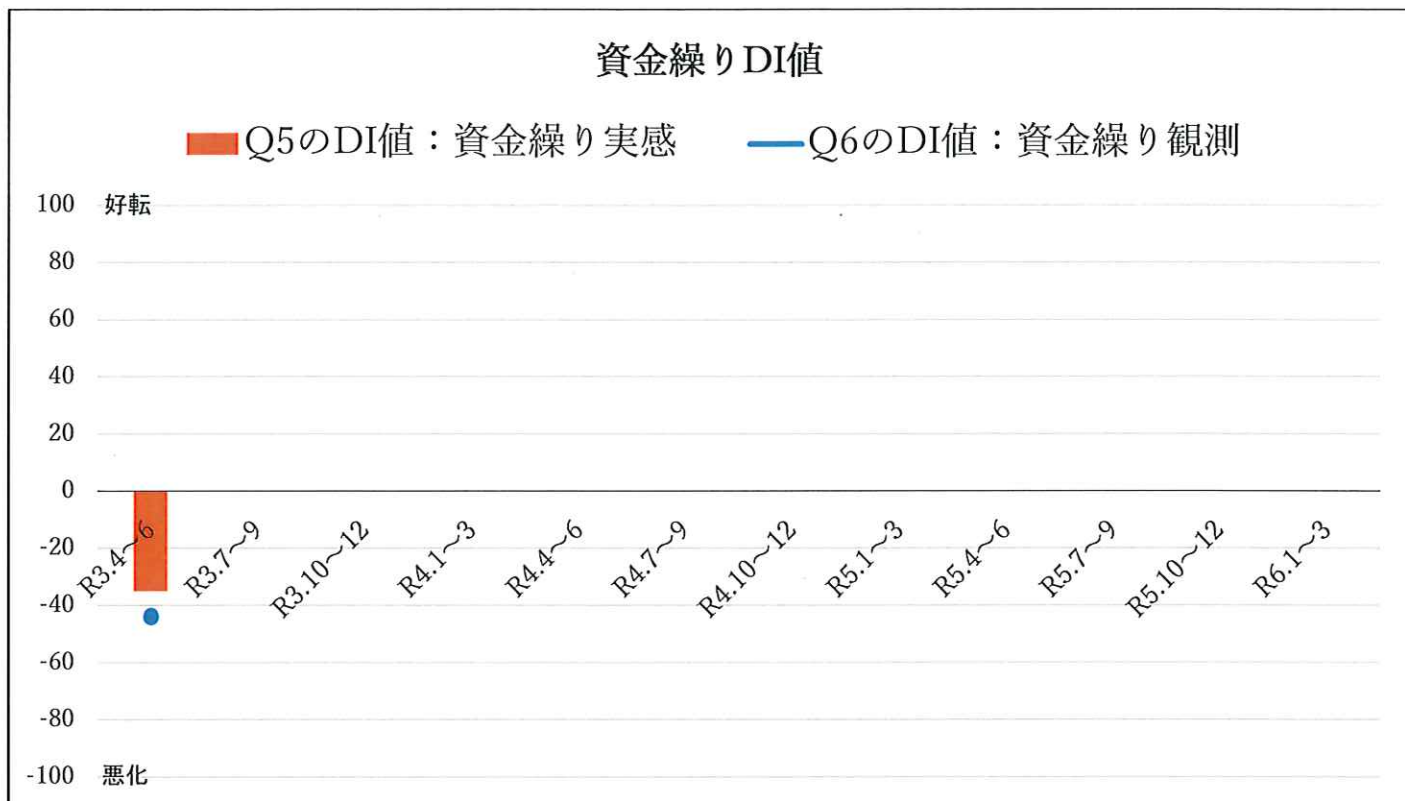


□仕入・諸経費実感のD I 値は▲27ポイント、観測のD I 値は▲35ポイント。

支出増加による影響が強く懸念され、今後も悪化見込み。

Q5. 「4～6月の資金繰り」についてお尋ねします。前年4～6月と比べて状況はいかがですか？

Q6. 「向こう3ヶ月の資金繰り」についてはいかがですか？

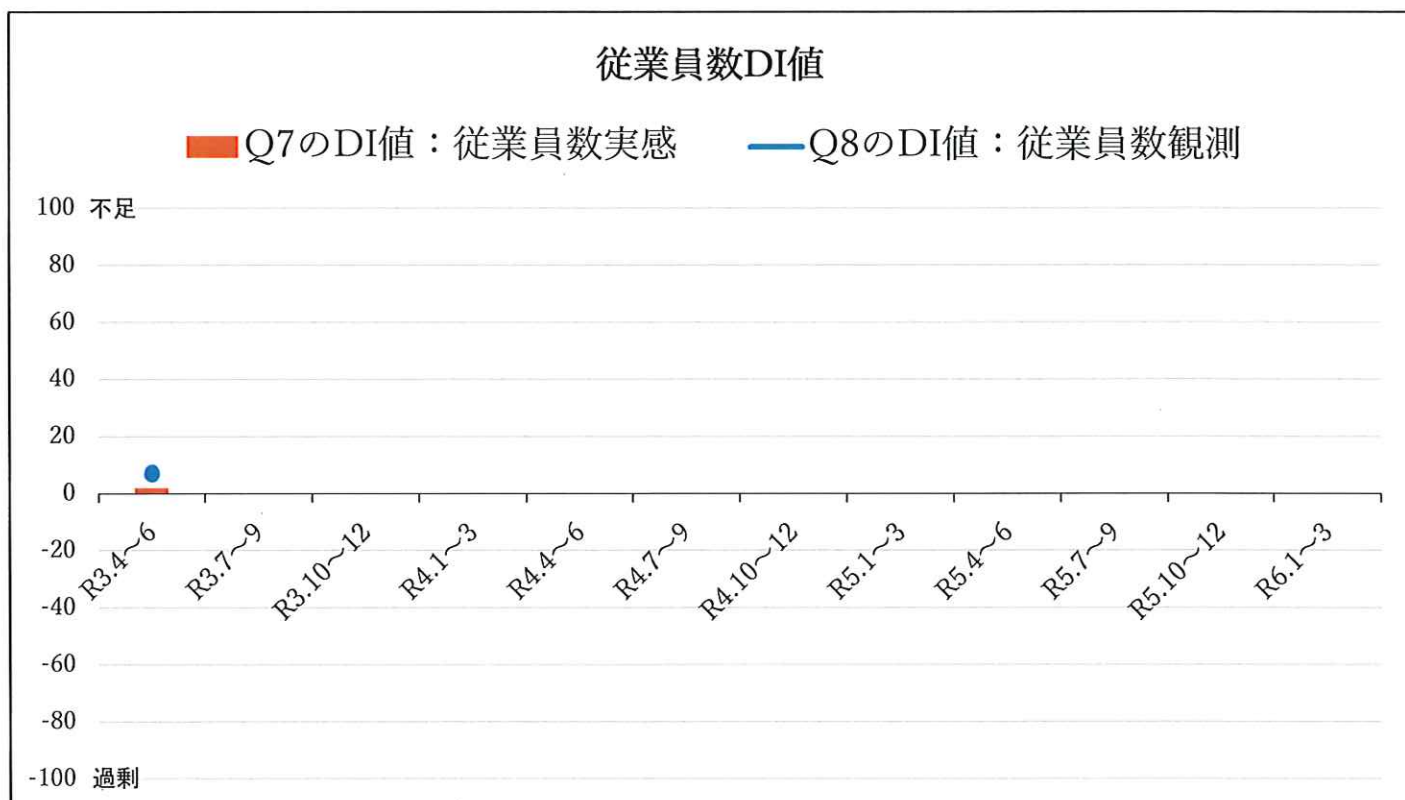


□資金繰り実感のD I 値は▲35ポイント、観測のD I 値は▲43ポイント。

収支悪化に伴う不安感が色濃く、今後も悪化見込み。

Q7. 「4～6月の従業員数」についてお尋ねします。前年4～6月と比べて状況はいかがですか？

Q8. 「向こう3ヶ月の従業員数」についてはいかがですか？



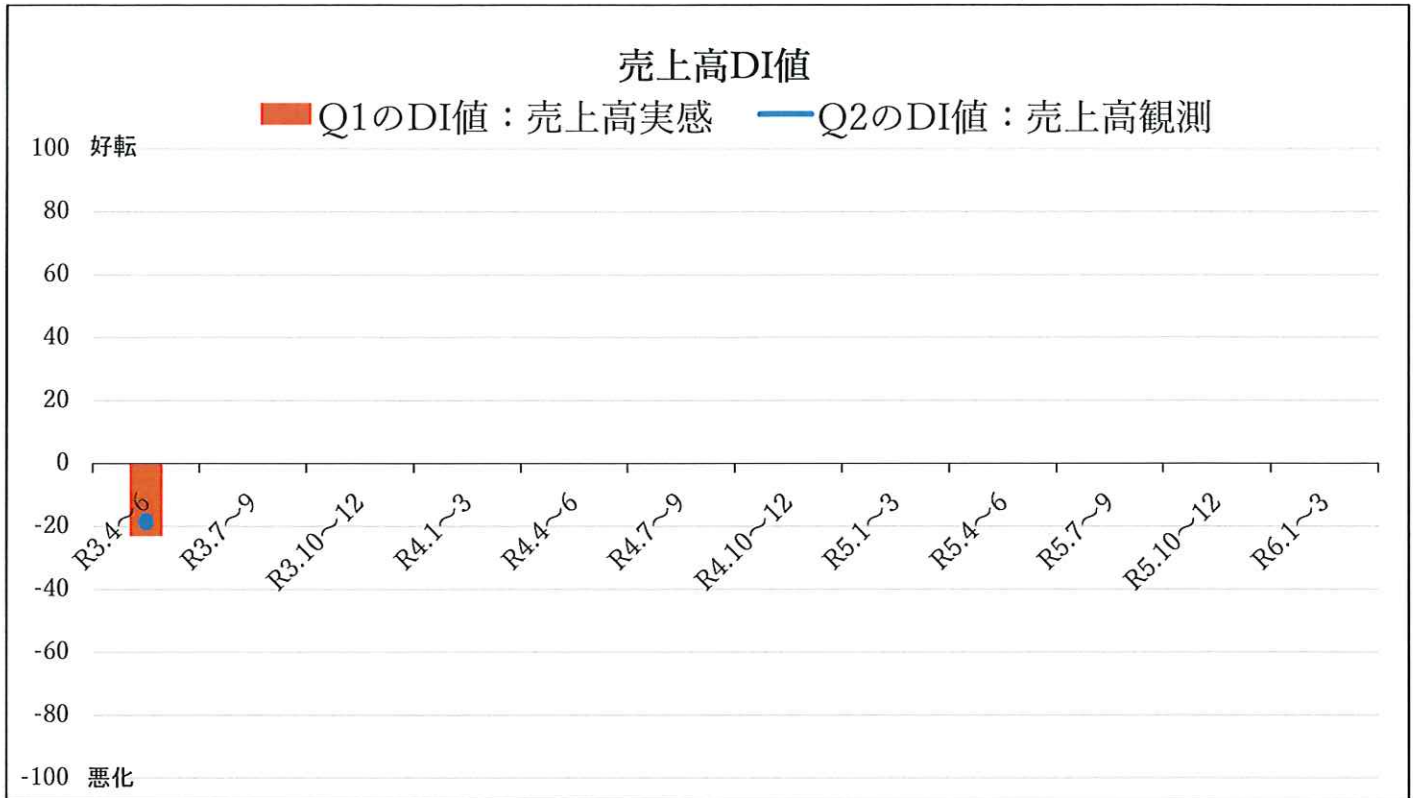
□従業員数不足の実感D I 値は2ポイント、観測のD I 値は4ポイント。

人手はほぼ適正、今後も同傾向。

【製造業】

Q 1. 「4～6月の売上高」についてお尋ねします。前年4～6月と比べて状況はいかがですか？

Q 2. 「向こう3ヶ月の売上高の見通し」についてはいかがですか？

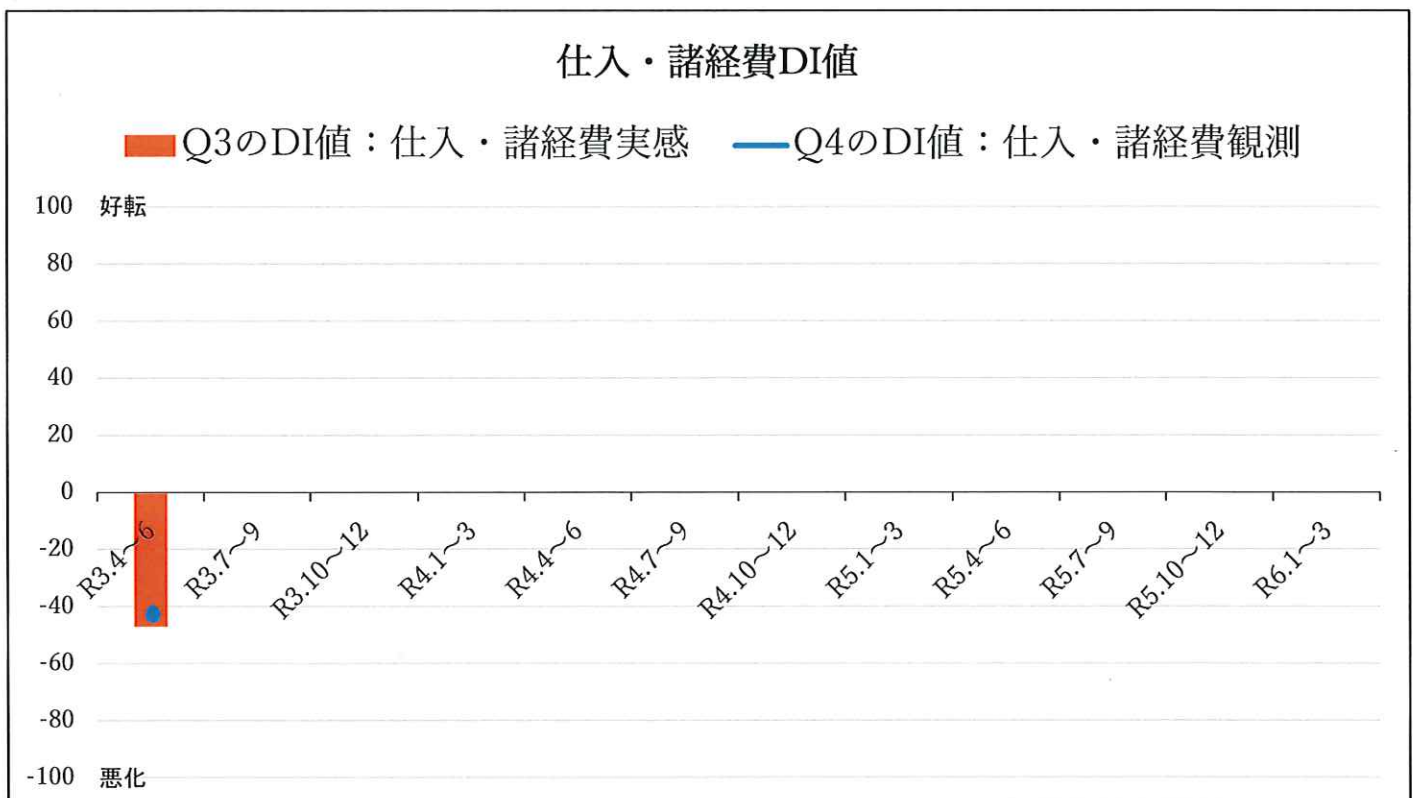


□売上高実感のD I 値は▲23ポイント、観測のD I 値は▲20ポイント。

収入減少による不況感が滲むが、今後は改善傾向。

Q 3. 「4～6月の仕入・諸経費」についてお尋ねします。前年4～6月と比べて状況はいかがですか？

Q 4. 「向こう3ヶ月の仕入・諸経費の見通し」についてはいかがですか？



□仕入・諸経費実感のD I 値は▲47ポイント、観測のD I 値は▲43ポイント。

支出増加による大幅な圧迫感が見られるが、今後は改善傾向。

Q 5. 「4～6月の資金繰り」についてお尋ねします。前年4～6月と比べて状況はいかがですか？

Q 6. 「向こう3ヶ月の資金繰り」についてはいかがですか？

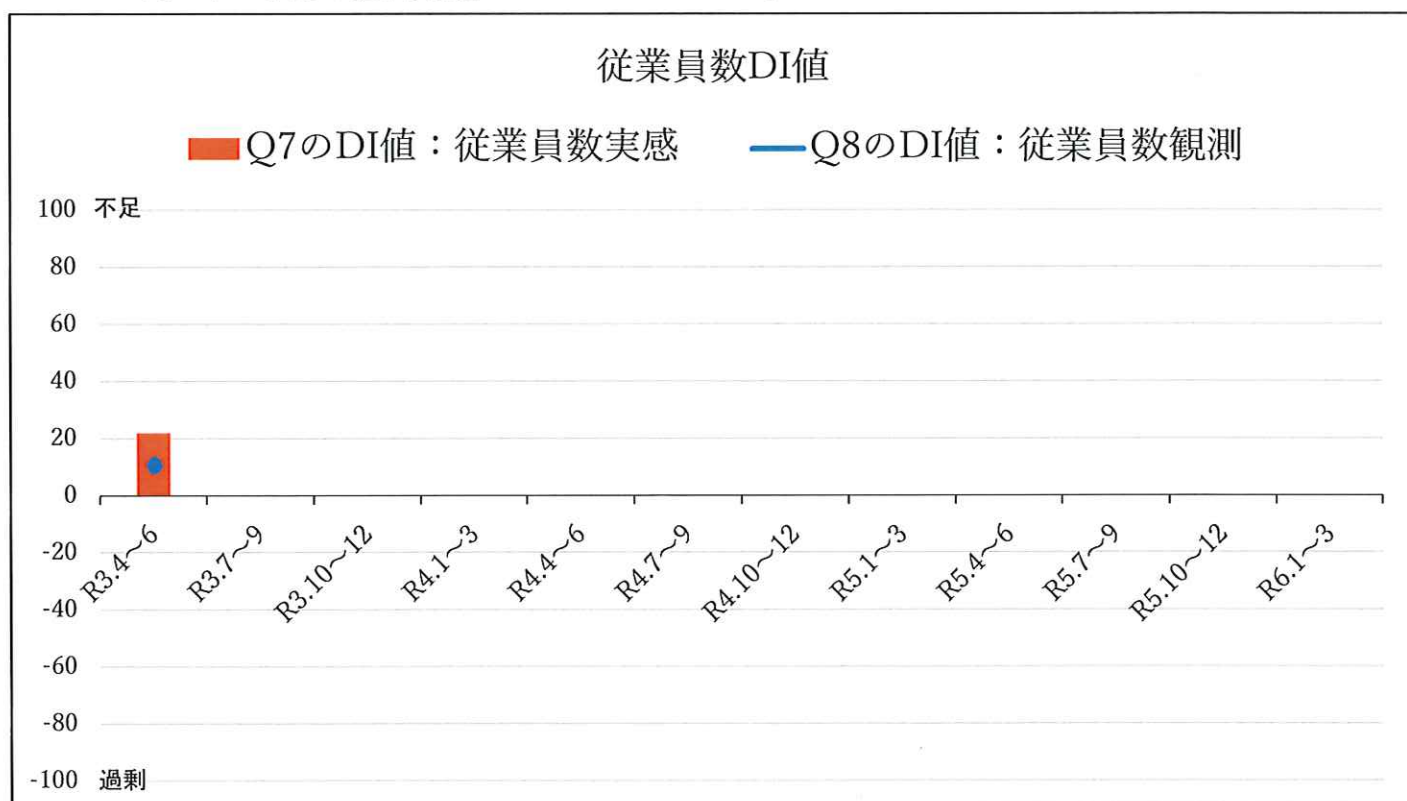


□資金繰り実感のD I 値は▲30ポイント、観測のD I 値は▲25ポイント。

収支悪化の懸念が強いが、今後は改善傾向。

Q 7. 「4～6月の従業員数」についてお尋ねします。前年4～6月と比べて状況はいかがですか？

Q 8. 「向こう3ヶ月の従業員数」についてはいかがですか？



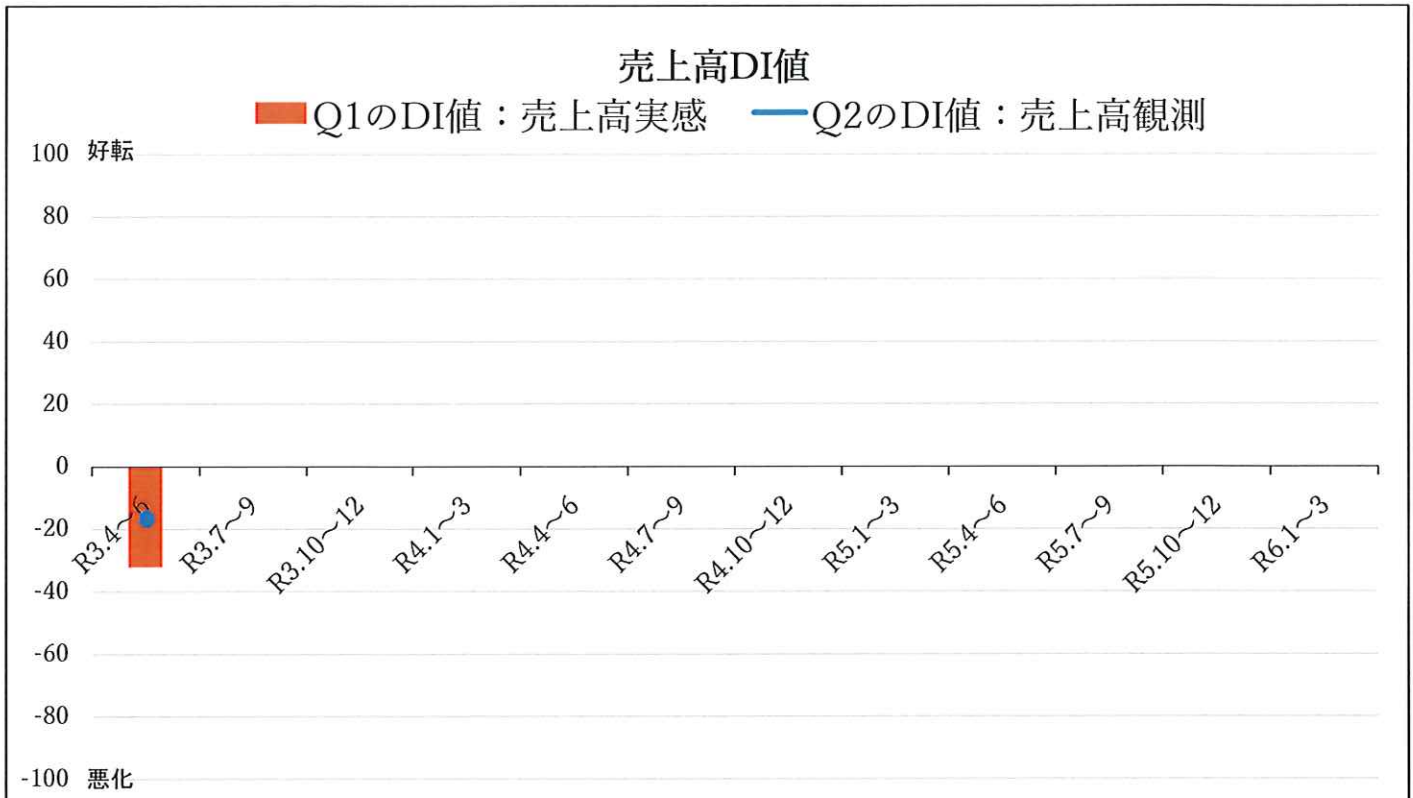
□従業員数不足の実感D I 値は22ポイント、観測のD I 値は12ポイント。

人手不足感は強いが、今後は改善が見込まれる。

【建設業】

Q 1. 「4～6月の売上高」についてお尋ねします。前年4～6月と比べて状況はいかがですか？

Q 2. 「向こう3ヶ月の売上高の見通し」についてはいかがですか？

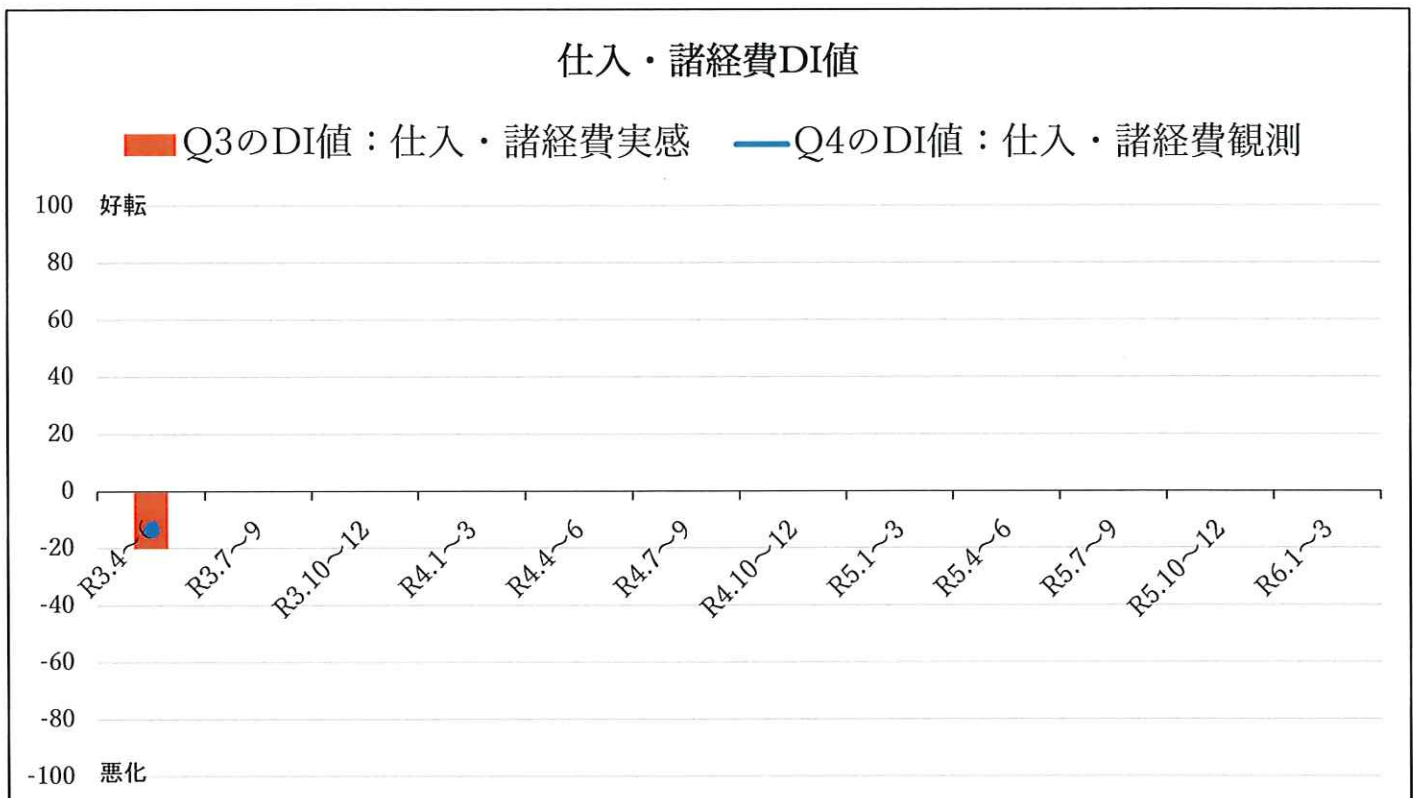


□売上高実感のD I 値は▲32ポイント、観測のD I 値は▲16ポイント。

収入減少の現状は厳しいものの、今後は改善が見込まれる。

Q 3. 「4～6月の仕入・諸経費」についてお尋ねします。前年4～6月と比べて状況はいかがですか？

Q 4. 「向こう3ヶ月の仕入・諸経費の見通し」についてはいかがですか？

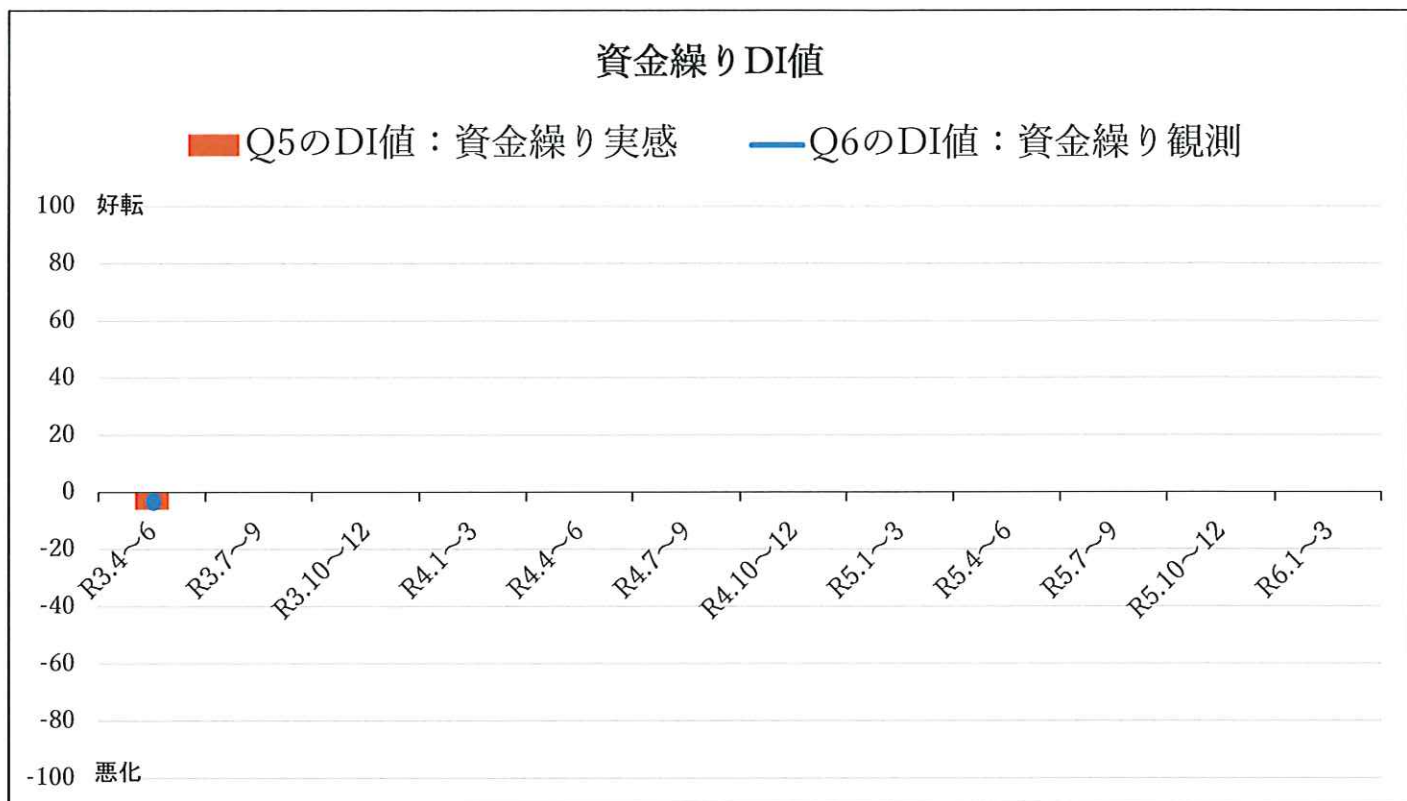


□仕入・諸経費実感のD I 値は▲20ポイント、観測のD I 値は▲16ポイント。

支出増加による圧迫感が見られるものの、今後は改善気配。

Q 5. 「4～6月の資金繰り」についてお尋ねします。前年4～6月と比べて状況はいかがですか？

Q 6. 「向こう3ヶ月の資金繰り」についてはいかがですか？

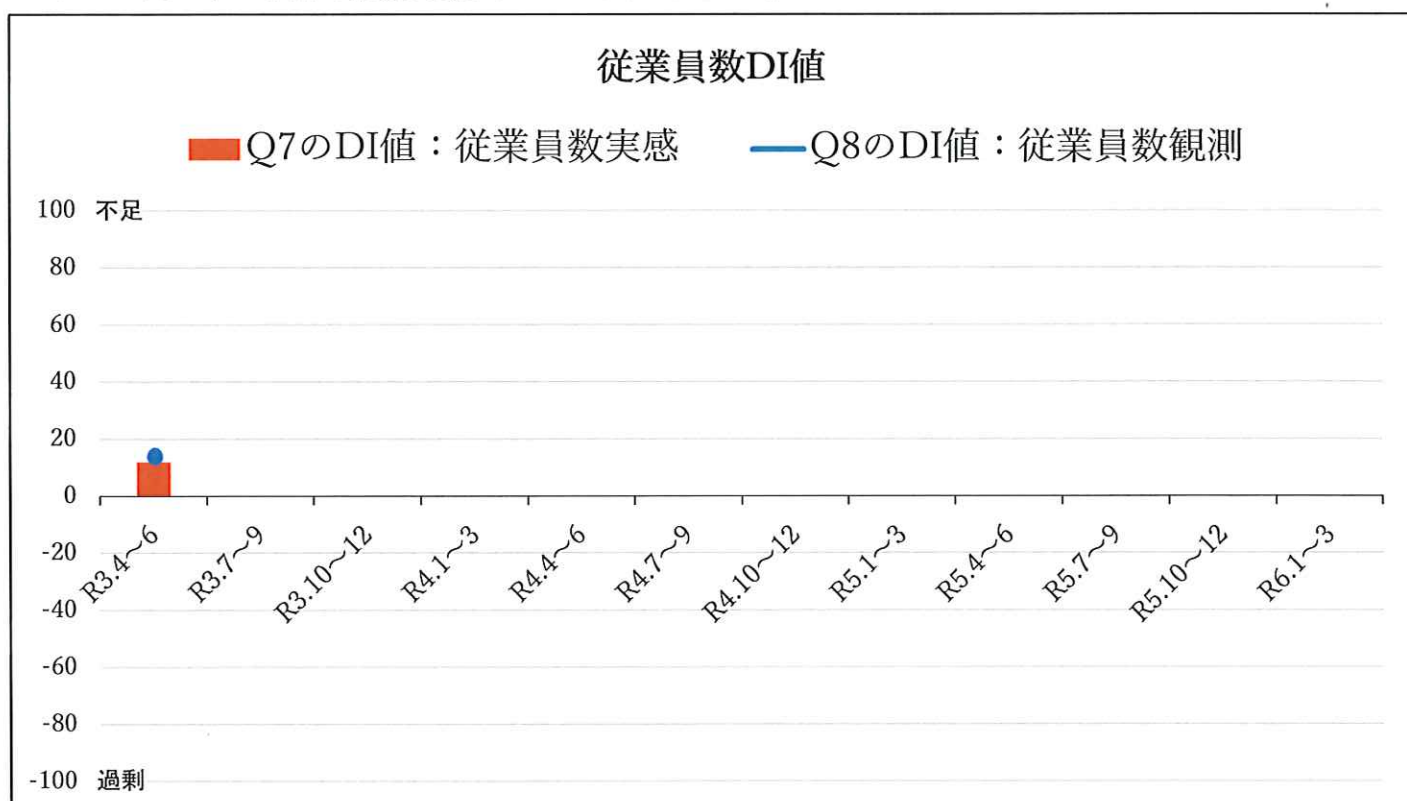


□資金繰り実感のD I 値は▲ 6 ポイント、観測のD I 値は▲ 4 ポイント。

若干の資金不足も、復調見込み。

Q 7. 「4～6月の従業員数」についてお尋ねします。前年4～6月と比べて状況はいかがですか？

Q 8. 「向こう3ヶ月の従業員数」についてはいかがですか？



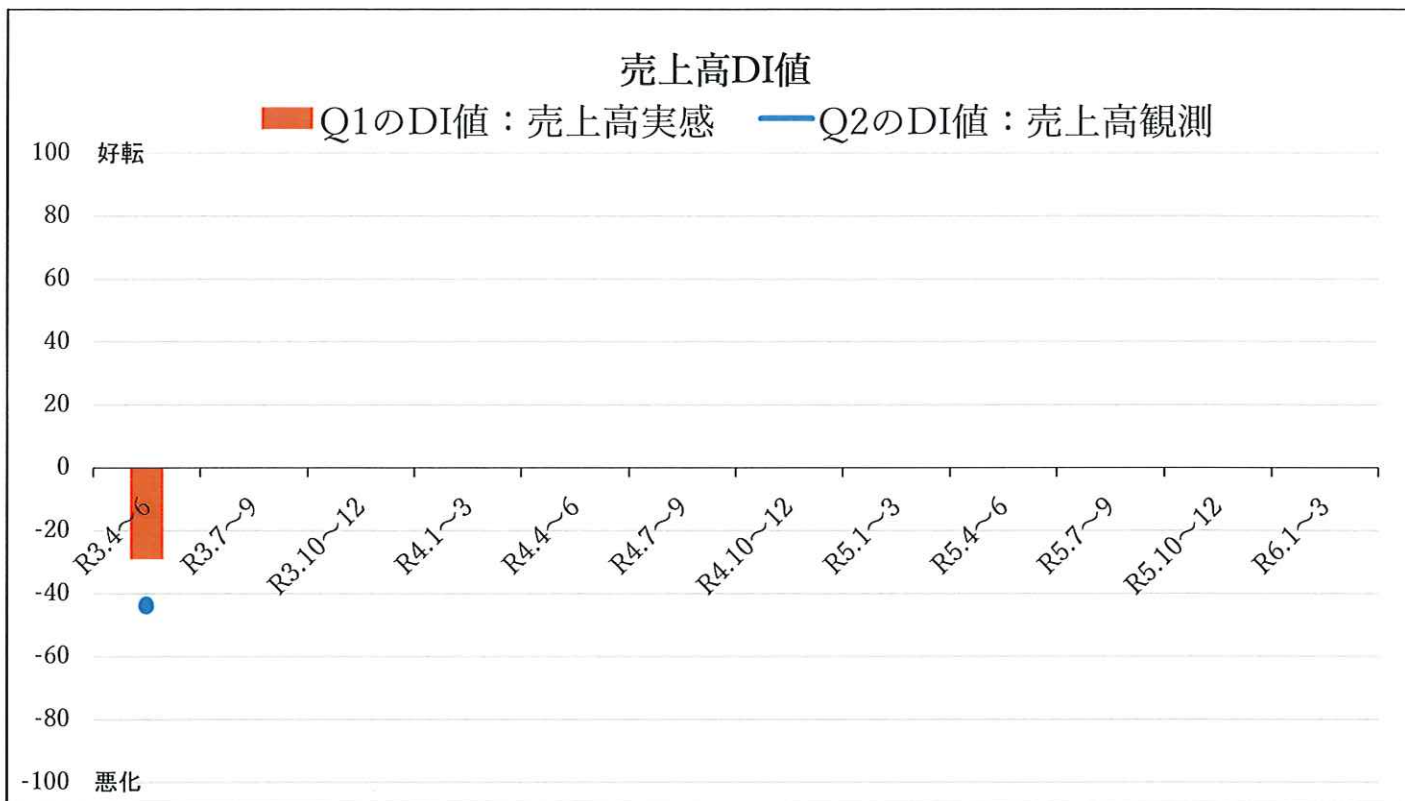
□従業員数不足の実感D I 値は1 2 ポイント、観測のD I 値は1 4 ポイント。

人手不足感があり、今後も続く見通し。

【宿泊業・飲食業・理美容業】

Q 1. 「4～6月の売上高」についてお尋ねします。前年4～6月と比べて状況はいかがですか？

Q 2. 「向こう3ヶ月の売上高の見通し」についてはいかがですか？

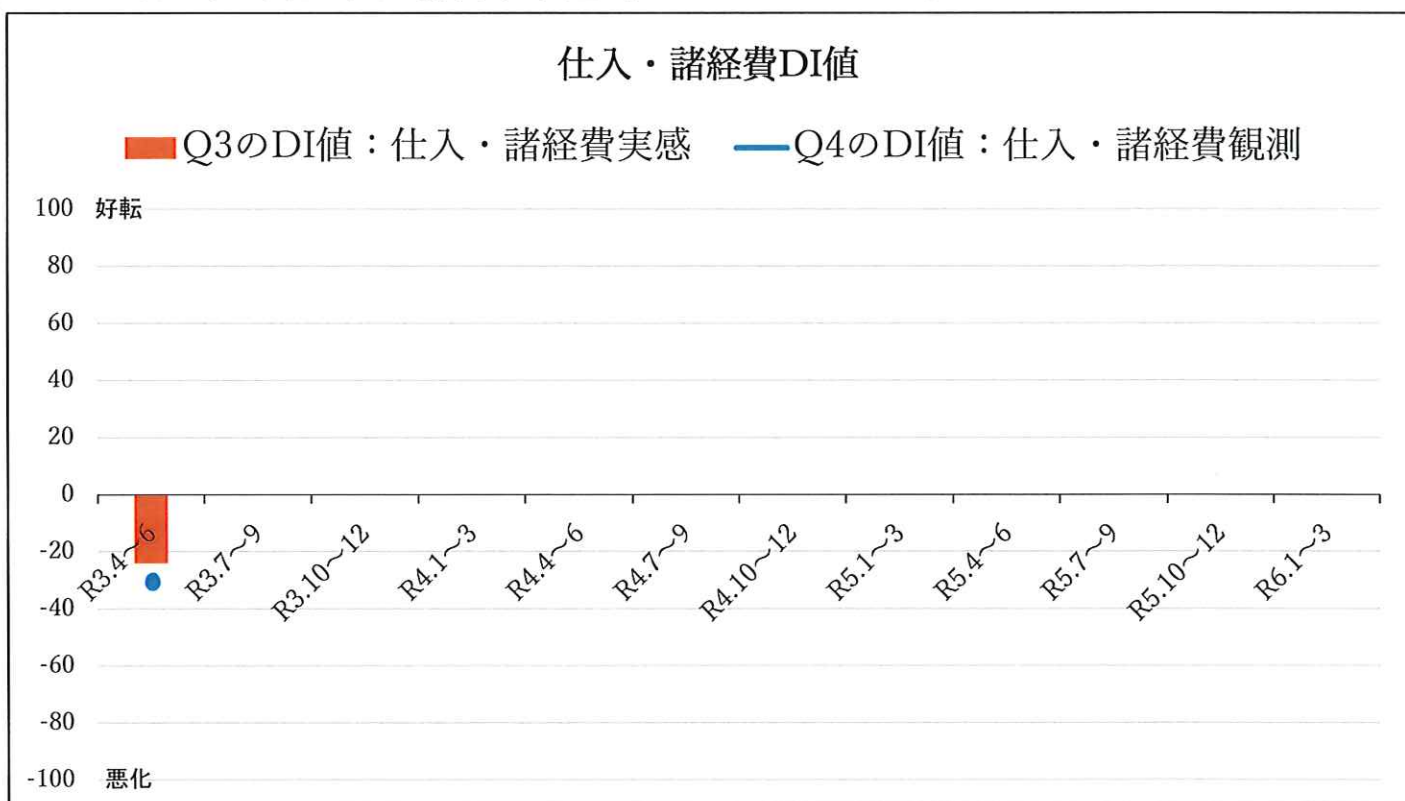


□売上高実感のD I 値は▲29ポイント、観測のD I 値は▲42ポイント。

収入減少厳しく、拡大傾向への大きな懸念がある。

Q 3. 「4～6月の仕入・諸経費」についてお尋ねします。前年4～6月と比べて状況はいかがですか？

Q 4. 「向こう3ヶ月の仕入・諸経費の見通し」についてはいかがですか？

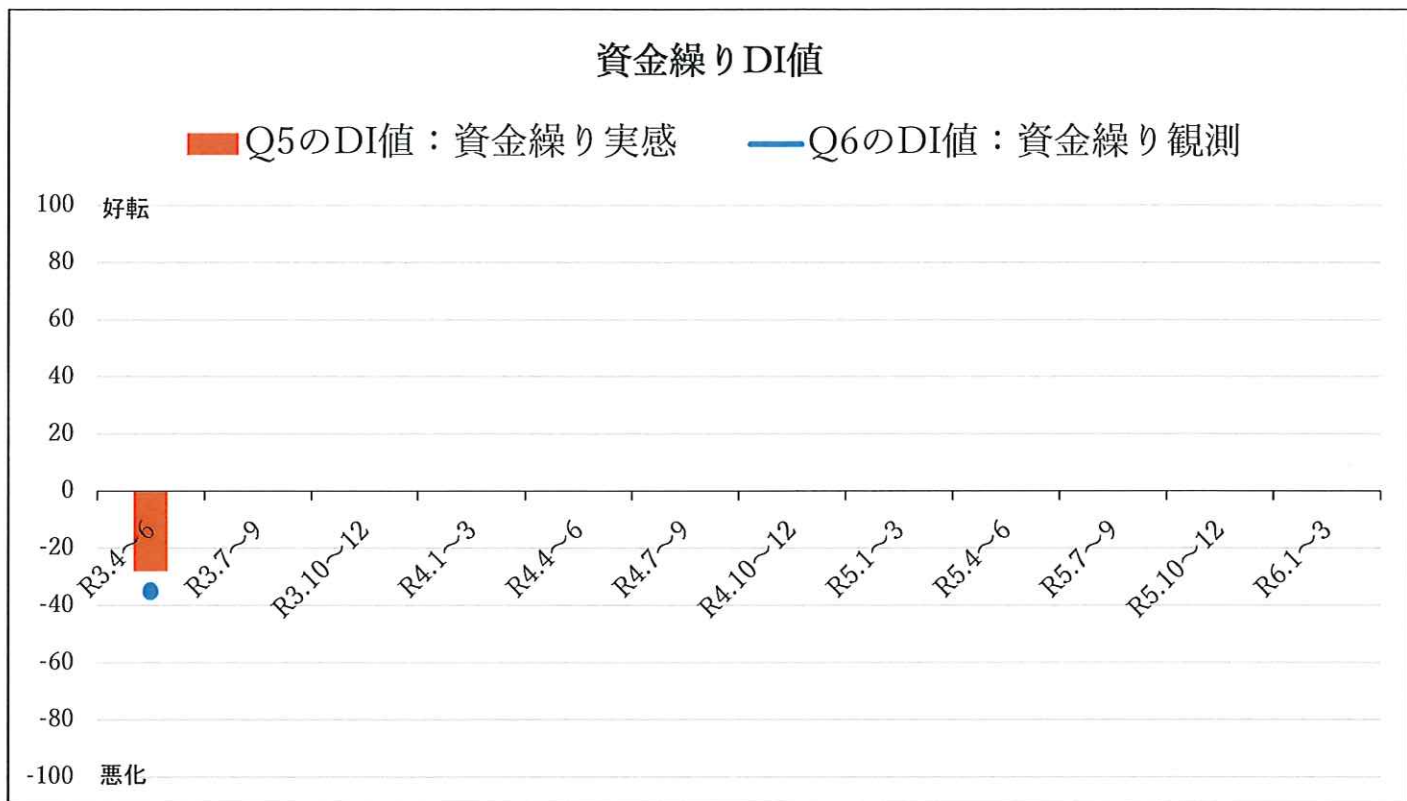


□仕入・諸経費実感のD I 値は▲24ポイント、観測のD I 値は▲29ポイント。

支出増加が押し掛かり、今後も悪化見込み。

Q 5. 「4～6月の資金繰り」についてお尋ねします。前年4～6月と比べて状況はいかがですか？

Q 6. 「向こう3ヶ月の資金繰り」についてはいかがですか？

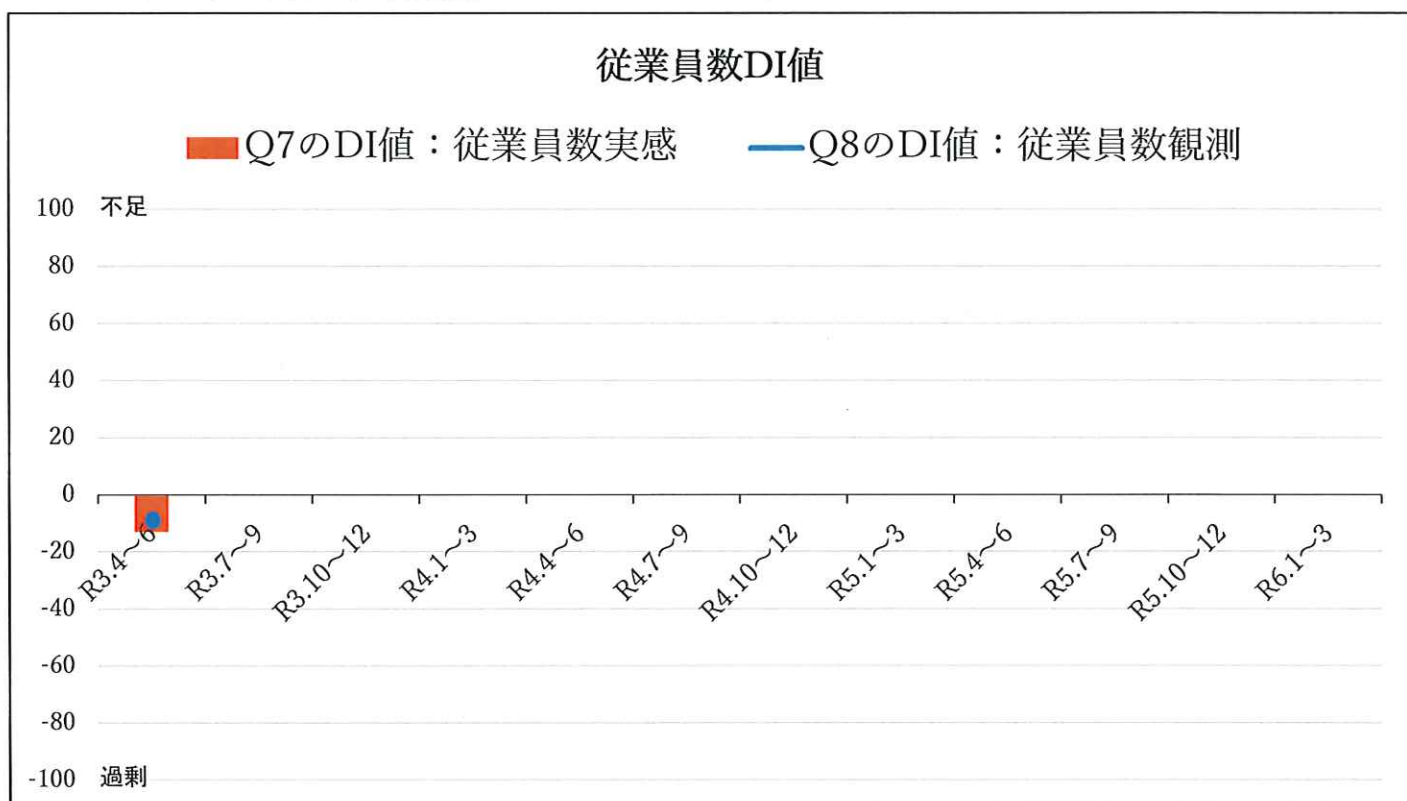


□資金繰り実感のD I 値は▲28ポイント、観測のD I 値は▲37ポイント。

収支悪化による手詰まり感広がっており、今後への影響も強く懸念される。

Q 7. 「4～6月の従業員数」についてお尋ねします。前年4～6月と比べて状況はいかがですか？

Q 8. 「向こう3ヶ月の従業員数」についてはいかがですか？



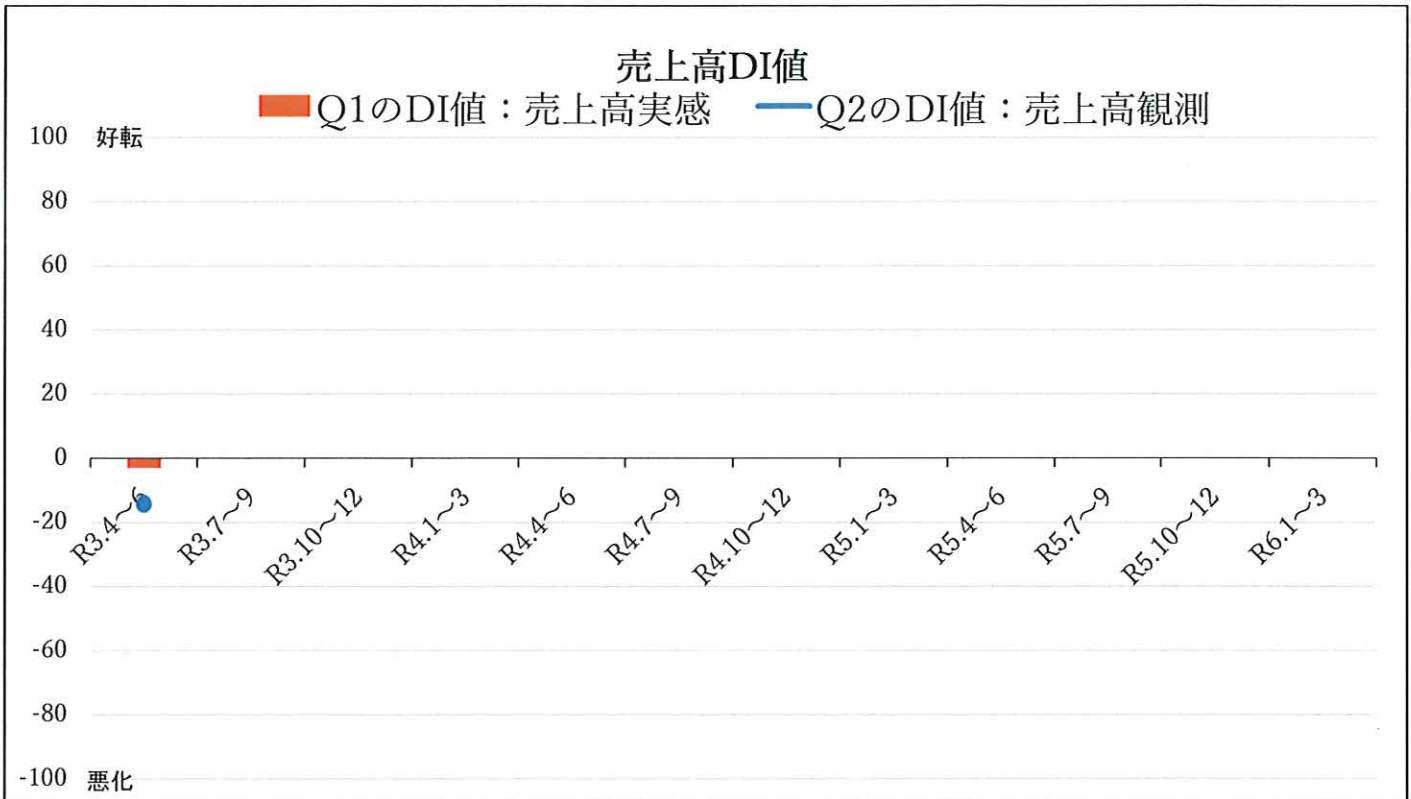
□従業員数過剰の実感D I 値は13ポイント、観測のD I 値は▲8ポイント。

人手過剰感が出ているものの、改善傾向。

【サービス業・金融保険業・その他】

Q 1. 「4～6月の売上高」についてお尋ねします。前年4～6月と比べて状況はいかがですか？

Q 2. 「向こう3ヶ月の売上高の見通し」についてはいかがですか？

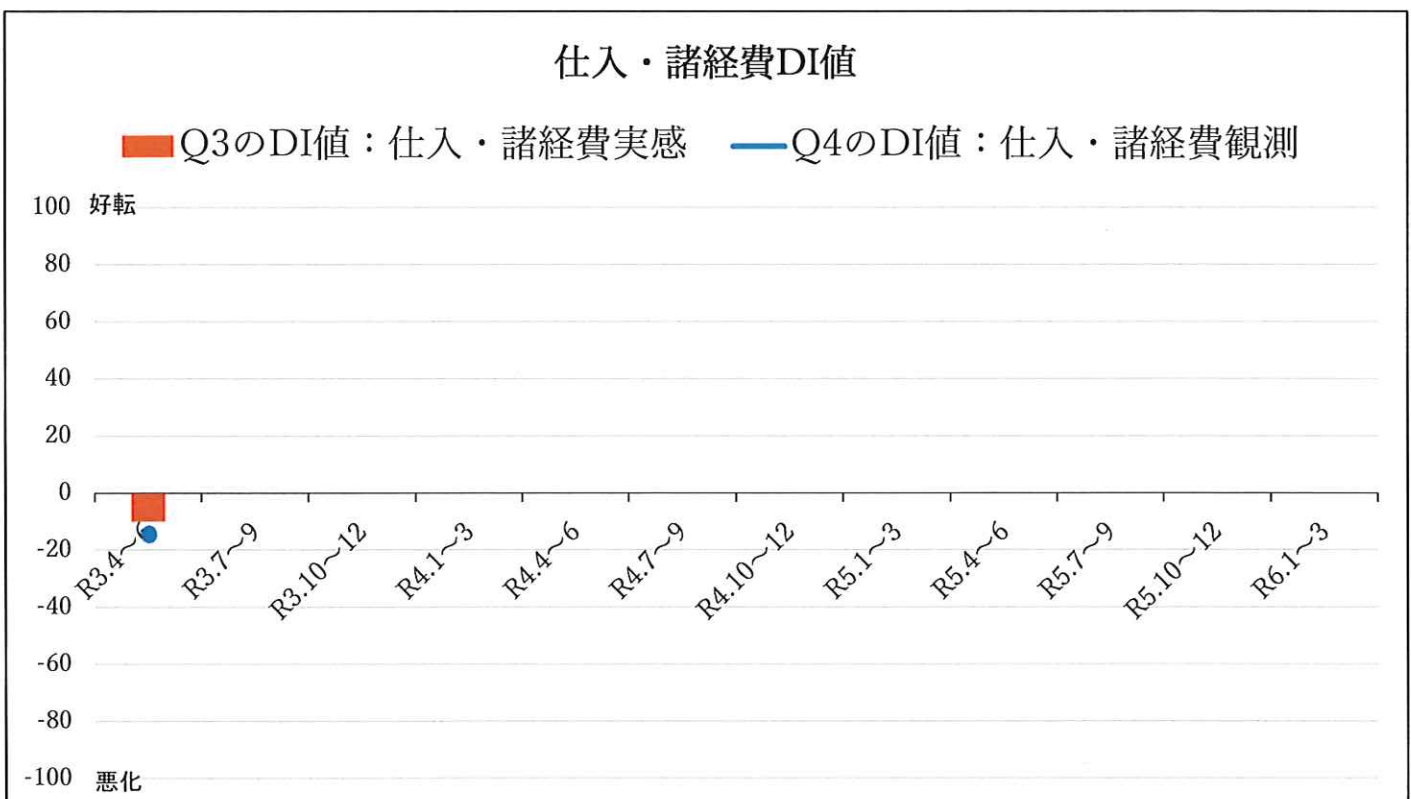


□売上高実感のD I 値は▲ 3 ポイント、観測のD I 値は▲ 1 5 ポイント。

収入は持ち堪えているものの、今後は警戒感が強い。

Q 3. 「4～6月の仕入・諸経費」についてお尋ねします。前年4～6月と比べて状況はいかがですか？

Q 4. 「向こう3ヶ月の仕入・諸経費の見通し」についてはいかがですか？



□仕入・諸経費実感のD I 値は▲ 1 0 ポイント、観測のD I 値は▲ 1 3 ポイント。

負担感が増しており、今後も続く見通し。

Q5. 「4～6月の資金繰り」についてお尋ねします。前年4～6月と比べて状況はいかがですか？

Q6. 「向こう3ヶ月の資金繰り」についてはいかがですか？



□資金繰り実感のD I 値は▲12ポイント、観測のD I 値は▲16ポイント。

資金不足が顕在化しており、今後も続く見通し。

Q7. 「4～6月の従業員数」についてお尋ねします。前年4～6月と比べて状況はいかがですか？

Q8. 「向こう3ヶ月の従業員数」についてはいかがですか？



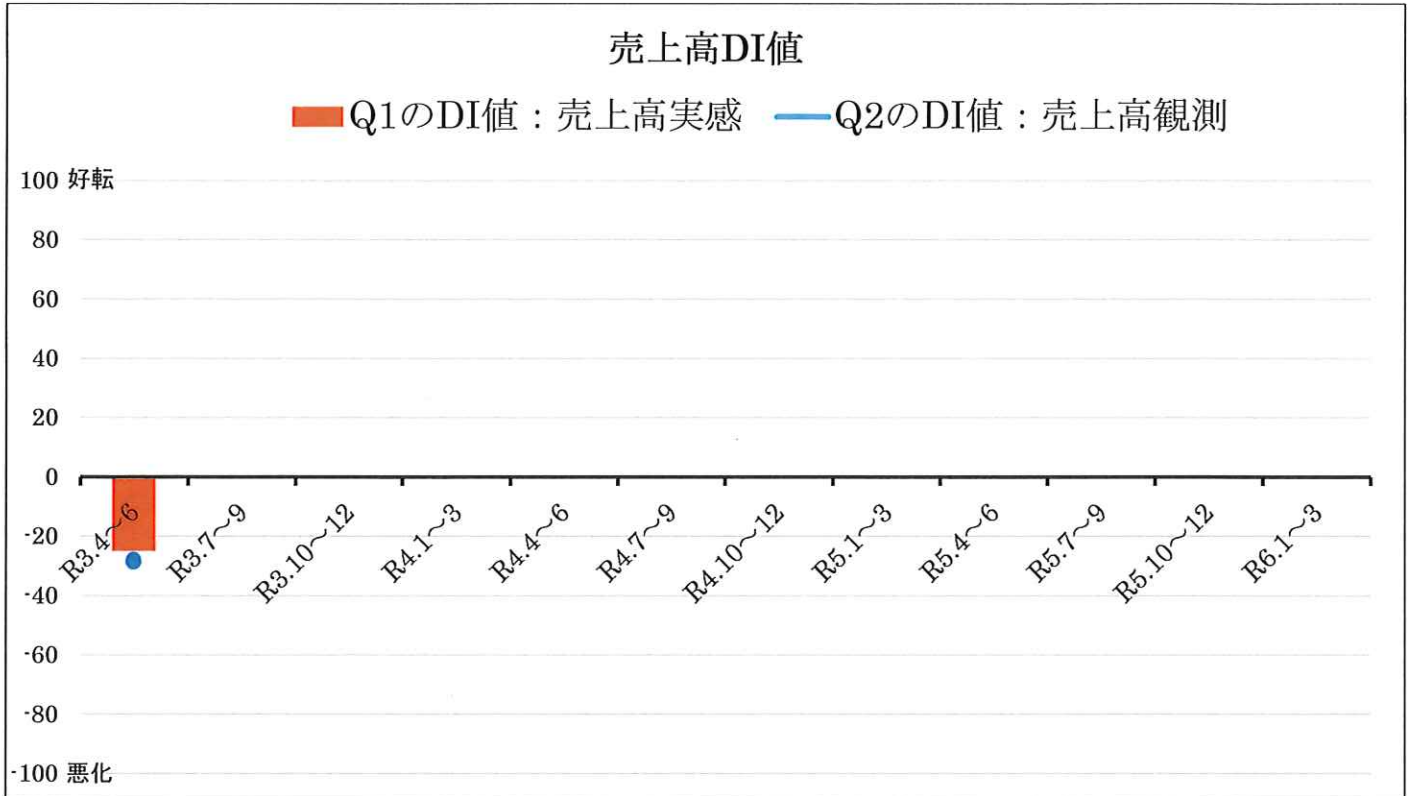
□従業員数不足の実感D I 値は10ポイント、観測のD I 値は18ポイント。

人手不足感があり、今後更に必要性高まる。

【全体】

Q1. 「4～6月の売上高」についてお尋ねします。前年4～6月と比べて状況はいかがですか？

Q2. 「向こう3ヶ月の売上高の見通し」についてはいかがですか？

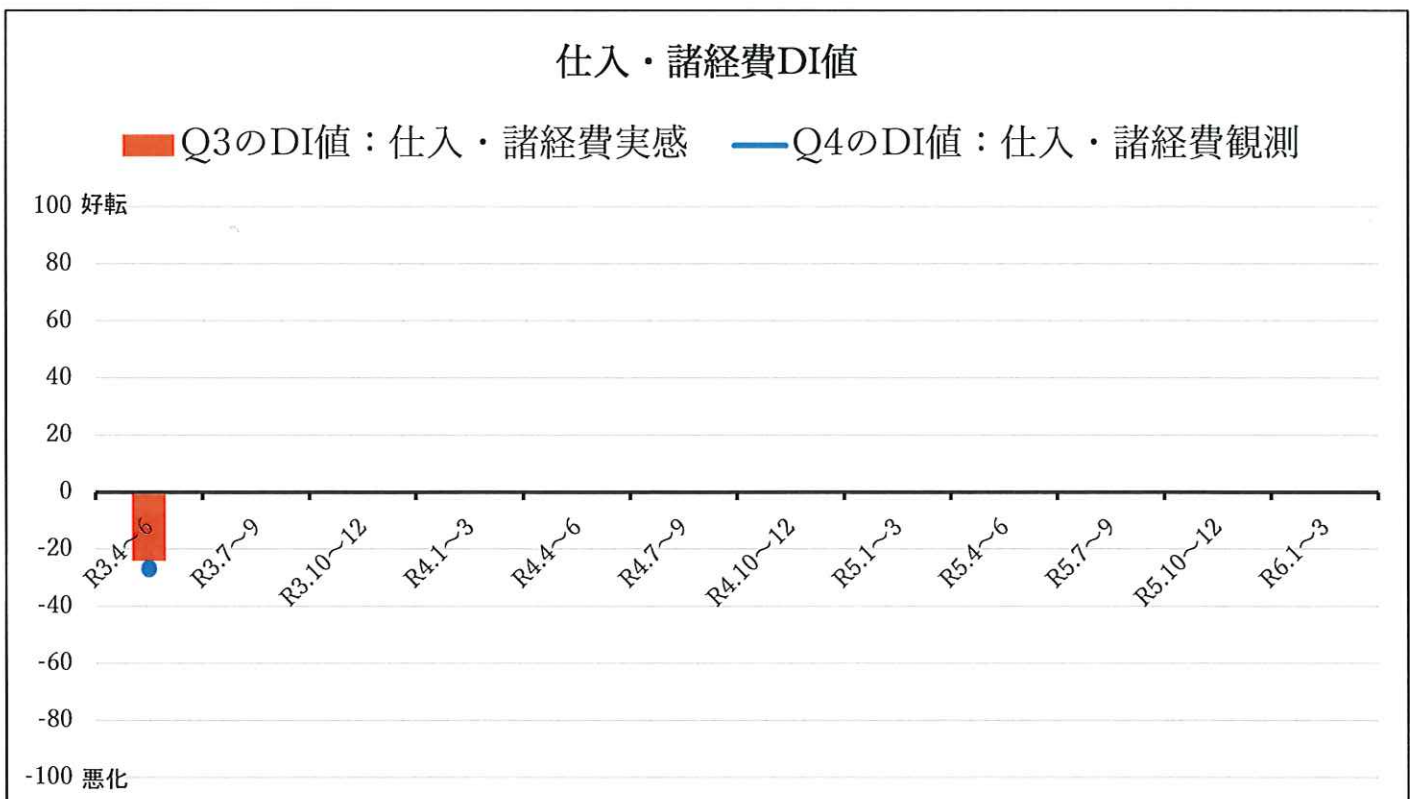


□売上高実感のDI値は▲25ポイント、観測のDI値は▲27ポイント。

収入減少による不況感がにじみ、今後も続く見通し。

Q3. 「4～6月の仕入・諸経費」についてお尋ねします。前年4～6月と比べて状況はいかがですか？

Q4. 「向こう3ヶ月の仕入・諸経費の見通し」についてはいかがですか？

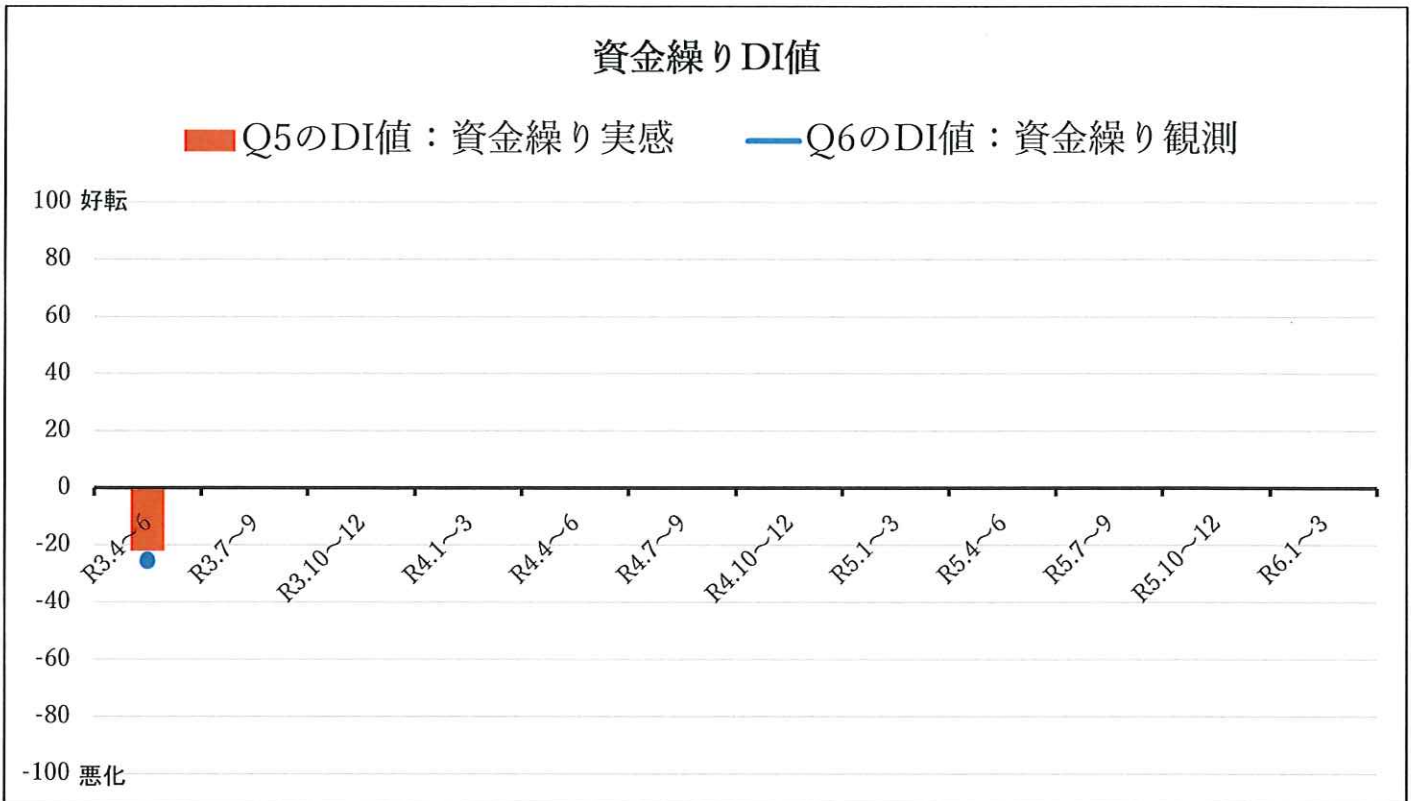


□仕入・諸経費実感のDI値は▲24ポイント、観測のDI値は▲26ポイント。

支出増加による圧迫感が見られ、今後も続く見通し。

Q 5. 「4～6月の資金繰り」についてお尋ねします。前年4～6月と比べて状況はいかがですか？

Q 6. 「向こう3ヶ月の資金繰り」についてはいかがですか？

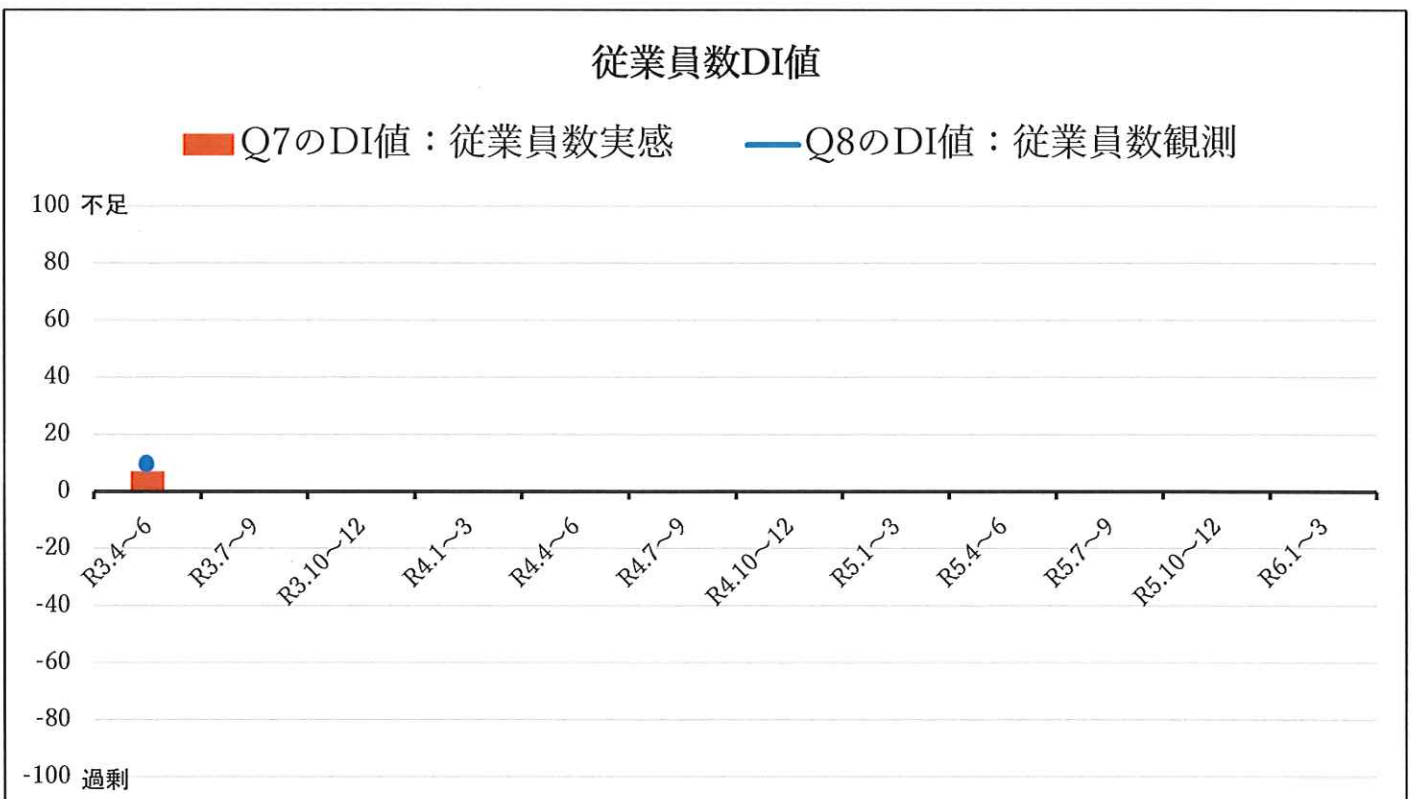


□資金繰り実感のD I 値は▲22ポイント、観測のD I 値は▲24ポイント。

収支悪化による不如意感が漂い、今後も続く見通し。

Q 7. 「4～6月の従業員数」についてお尋ねします。前年4～6月と比べて状況はいかがですか？

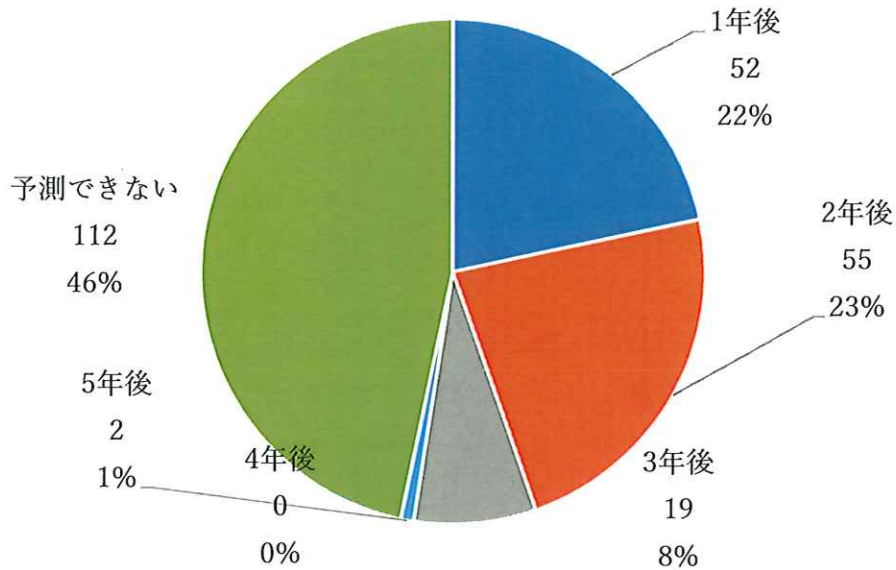
Q 8. 「向こう3ヶ月の従業員数」についてはいかがですか？



□従業員数不足の実感D I 値は7ポイント、観測のD I 値は9ポイント。

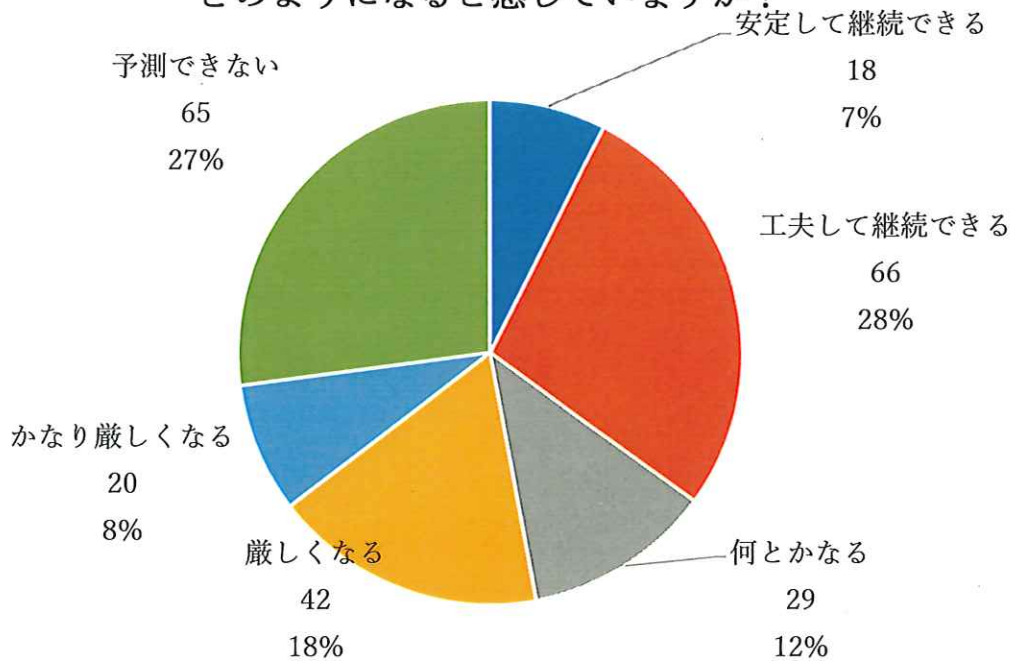
若干の人手不足であり、今後も続く見通し。

Q9 「コロナ禍の影響」についてお尋ねします。
終息はいつ頃と感じていますか？



□コロナ禍の終息について、1～2年後と見込む割合が45%、予測不可が46%と拮抗。期待感と不安感が混在。

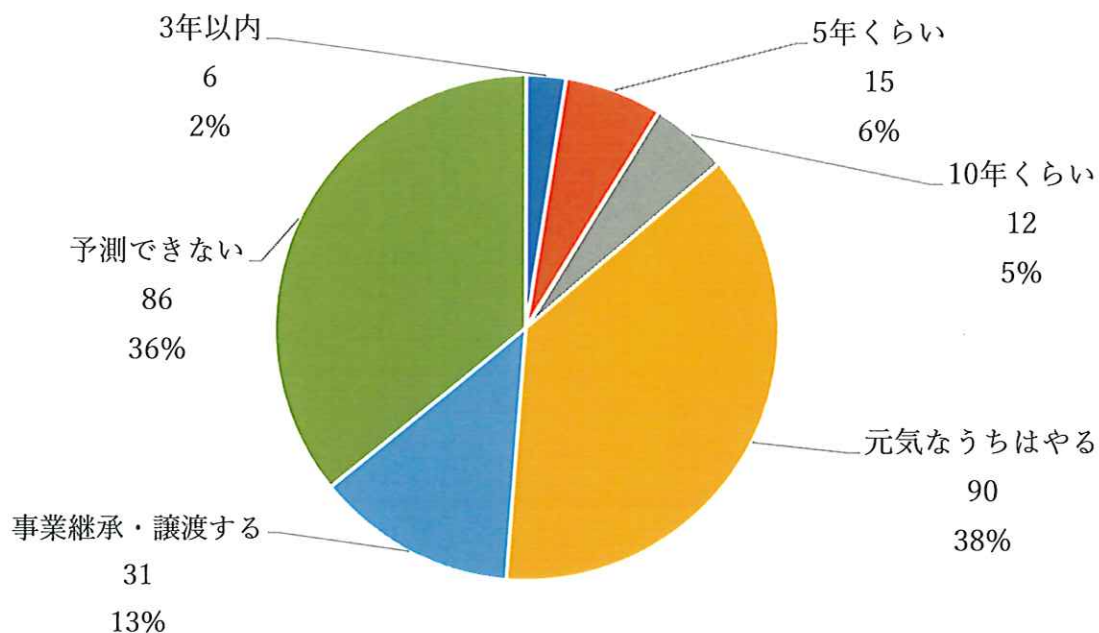
Q10 「コロナ後の仕事環境」についてお尋ねします。
どのようになると感じていますか？



□コロナ後の仕事環境について、継続可能な観測が47%、厳しい見立て及び予測不可の合計が53%とほぼ拮抗。先行きの予断を許さない。

Q11 「仕事の持続」についてお尋ねします。

あとどのくらい仕事を継続できると感じていますか？



□仕事の持続について、「事業承継・譲渡する」及び「3年・5年10年」など、一定の区切りを見立てている割合が26%。「元気なうちはやる」「予測できない」と回答した期限見込みのない割合が74%。事業継続の難しさが窺える。

【参考】 経営者240名の年代別内訳

20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
1人	11人	30人	58人	68人	61人	11人
青年		壮年		実年		熟年
12人 (5.0%)		88人 (36.7%)		129人 (53.7%)		11人 (4.6%)

◆◆◆ 総 評 ◆◆◆

収益力の低下が窺われる。全体的に、先行きの見通せない漠然とした閉塞感が漂っており、市内の景況は「何とか持ち堪えている」状態である。経営者の年代も高齢割合が高く、閉塞感を打ち破るためには経営者に留まらない若手人材の活躍が期待される。

景況について、ご自由にご記入ください

業種	自由記入
1 飲食業	当店は開業当時は関東方面の客が多くコロナによりそれが激減しました。地元は消費が少なく困っております。コロナが収束すればすぐに解決できると思っておりますが現状ではいつになるかわかりません。
2 建設業	これまでの仕事にあった固定観念を打破して生き延びていくアイデアを、様々な方々（業種）にご指導いただきたい。ピンチをチャンスにしていけるよう…。
3 卸売業	向こう3ヶ月の見通しなど分からない。
4 製造業	多品種少量生産から多品種単品生産に移行している。
5 飲食業	飲食店が感染源の1つとされ社会から敬遠されている。コロナ終息後も今の生活に慣れお客様が戻って来て下さるか心配だが、又、きっと来て下さると信じて感染対策をしっかりとやって頑張るしかない。
6 小売業	コロナよりもお客様の高齢化、人口減少の方が心配です。個店にしても組合にしても今後の事業継続を考えると大変厳しいものがあります。
7 小売業	コロナに限らず、時の状況にあわせて事業の内容を変化させていこうと思っています。補助金等の申請には尽力いただき感謝しています。ところで、「みやこ割」の対象店舗が少ないのはなぜなのでしょう。貴所が行動と連携を密にしてもらえよう希望しております。
8 小売業	プレミアム商品券の再販を希望します。迅速に。かなり景気が落ち込んでいるので。先の見えない不安で毎日を過ごしています。いわて飲食店安心認証制度も余りに項目が多くて、私営の小さな店には該当しない制度のようにも思います。それでも感染対策には自助努力をしながら営業を行っていますが全く駄目ですね!!精神的にも大変で時折心が折れそうになります。度々の支援金は本当に感謝です。今は自分なりに健康管理と自助努力をしながら適度に頑張ります!!
9 飲食業	昨年、生花店閉店につき諸経費の削減に努めた事によりやや好転
10 小売業	あまり景況には左右されないが職場全体がなんとなく落ち着かない。
11 サービス業	コロナ終息後、工事発注状況や世の中の変化が予測できない為なんと答えたらよいか分からない
12 建設業	コロナ禍が続き、一部の業種（観光・宿泊・旅行・夜の飲食業等）で特に最悪の状況が続いて地域経済に大きく影を落としている。又、昼の一般小売りでも業種により（食品関連等一部を除き）大苦戦が長期間続いている。この状況では半年や1年で改善するとは思われない。早期の国・県・市の助成が望まれる。特に宮古市には待ったなしの対応をお願いしたい。
13 小売業	宮古にコロナが出なければ「変わらず」のままですが、1人出るとみなさん外出をひかえるので予測できません。
14 理美容業	支援金、補助金は収入とみなされ課税対象になるのは腑に落ちない。前年又は前々年比で30%以上の売上が減少すれば支援金が給付されるという事だったが、当店は28%減で対象外との事。総売上の数字ではなく純利益の数字を見るのどかがいい。
15 製造業	飲食店支援をお願いしたいです。現在、各飲食店はコロナ禍で大きな痛手を受けています。宮古の飲食店は横の繋がりが弱く、それを繋ぎ引っ張る仕掛けが必要に思えます。まずは飲食店の皆さんを集めて対話の場が必要なのではないかと思えます。
16 製造業	宮古盛岡間横断道路開通により来客が増えている印象。コロナ禍終息後はもう少し増えると思われる。
17 金融保険業	今の売上では継続していくのは不可能だと思う。地域の為とかお客さまの為とか考えるが実際そんな事考えなくなると思う。資金繰りも大変になってくるし経営者に対しては補助金などないボランティアで仕事をしている感じになっている。
18 その他運輸業	震災関連工事、台風10号、19号災害復旧工事の大幅な減少に伴って大変厳しい受注状況にあります。今年度以降競争が激しくなり低価格入札が増加し採算が悪化しています。加えてコロナによって民間需要の影響があります。
19 建設業	ワクチン接種により秋以降の回復を期待しているが感染者数に左右される風潮を懸念している。政府（行政）のしっかりとした方針、メッセージが欲しい所
20 サービス業	コロナ禍よりも復興需要が終息した事による仕事の現象の影響が大きい
21 製造業	新型コロナウイルスの影響で、リモートによる保険募集を取り入れたり、補助金を利用して空気清浄機を設置したり会社として少しずつですが変化に対応してきました。報道を見ると気づいて行動している人たちは業績を伸ばしているの、様々な情報に注意を払っていくのが大切です。国の政策や経済状況の影響が地域の人たちが生活にどのようにかわってくるのか私たちは伝える義務があると考えています。
22 金融保険業	今回の景況の悪化はコロナによるものですが、次は何が原因で悪化するのか分からない。不安定な状況は続いて行くかもしれないが何とか持続していければ良いと思う。若い人達が地元で働けるような企業が出来たらいいと思う。
23 小売業	気候変動による不漁、魚価安が続かねば良いと思っています。売上下落の際の支援を期待しています。
24 卸売業	全体に魚が不足していて今後の事が分からないです。さんま、鮭の今年の動きが良いといいのですが。期待出来ない感じです。
25 卸売業	